

# 令和4年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

## 【施設概要】

施設名称	上田市別所温泉森林公園					
指定管理者名	信州上小森林組合	料金制導入区分	使用料(収納委託)			
指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 ( 5年間 )					
施設所管課	農林部	森林整備課				
設置目的	自然環境のすぐれた森林を保護するとともに、その利用増進を図り、もって市民の保健、休養及び林業関係者の研修の場に資する。					
指定管理者が行う業務内容	上田市別所温泉森林公園の管理運営と施設及び物品の維持管理に関する業務 上田市別所温泉森林公園の利用許可と利用料金の徴収・納付に関する業務 特産栽培管理・栗園の入園に関する業務					
管理業務 の状況	作業項目	作業内容	回数	実施日	実施状況	
	日常清掃	園内の清掃	1日1回以上	毎営業日	職員が実施	
	定期清掃	園内の清掃	年2回以上	シーズン開始・集積時に実施	職員が実施	
	消防設備点検	管理担当者による点検	1日1回以上	毎営業日	管理担当者が実施	
	消防設備点検	有資格者による法定点検	年2回以上		専門業者に委託	
	合併浄化槽点検	有資格者による法定点検	年4回以上		専門業者に委託	
職員の 配置状況	役職等(職務内容)			計画	実績	
	統括責任者(全館の運営を統括)			1人	1人	
	管理担当(管理部門の統括、総務業務)			2人	2人	
	受付担当(受付部門の統括、料金の徴収・減免、窓口対応)			2人	2人	
施設の 利用状況	利用区分等	設定目標値	R4年度実績	達成率	R3年度実績	前年度比
	森林総合センター	50人	83人	166.0%	14人	592.9%
	テント	100人	169人	169%	61人	277%
	バンガロー	20棟	11棟	55%	0人	-
	栗園	人	479人	-	382人	125.4%
	開館日数	244日	延べ利用者数 (R4)	742人	一日あたり 利用者数	3人
	(施設所管課による評価)					
コロナ慣れやアウトドアブームにより利用者は増加したが、さらなる利用促進のため施策を講じる必要がある。						
自主事業 の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
	該当なし					
	(施設所管課による評価)					

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

		項目	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	備考
指定管理者	指定管理業務	収入					
		指定管理料	5,262,000	5,416,000	5,190,000	5,190,000	
		計	5,262,000	5,416,000	5,190,000	5,190,000	
		支出					
	人件費	3,669,000	3,747,000	3,280,000	3,655,000		
	光熱水費・燃料	266,000	245,000	348,000	268,000		
	点検・修繕費	851,000	872,000	987,000	979,000		
	印刷費	46,000	16,000	46,000	8,000		
	資材代・その他	428,000	531,000	529,000	277,000		
	計	5,260,000	5,411,000	5,190,000	5,187,000		
	差引	2,000	5,000	0	3,000		
自主事業	収入						
	計	0	0	0	0		
	支出						
計	0	0	0	0			
差引	0	0	0	0			
市	歳入	使用料	94,835	41,860		237,815	
		売売り払い	27,180	73,530		95,725	
		計	122,015	115,390	0	333,540	
	歳出	指定管理料	5,262,000	5,416,000	5,190,000	5,190,000	
		計	5,262,000	5,416,000	5,190,000	5,190,000	
差引	△ 5,139,985	△ 5,300,610	△ 5,190,000	△ 4,856,460			
総合計			△ 5,137,985	△ 5,295,610	#####	#####	

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判断基準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	△
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
	事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○
条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。		○	
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
		経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。
	管理費用の執行状況は適正か。		○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行われているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。 管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。 (※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか。	○
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないよう、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	○
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
安全衛生の管理体制は適正か。		○	
個別事項			

(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載

・他施設は消防点検がなされていたが、バンガローの消防点検がされていなかった。センターと同時に点検を行うことで点検漏れをな

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

- ・ 森林組合ホームページ・旅行・キャンプ等情報誌へ掲載し集客に努めた。
- ・ 松茸料理と栗拾いは、シーズンに合わせ新聞折込によるチラシ配布を行い集客を図った。

②経費節減に対する取り組み

- ・ 施設管理・清掃等のスタッフと受付スタッフを共有化することにより業務内容や人員配置等見直しを行い人件費コストの削減を行った。
- ・ 施設宿泊等の予約に合わせて人員のシフトを管理し、効率を図った。

③その他

- ・ 利用者の安全確保のため、枯損木の処理や施設周辺道路等の枝落としなどを行った。
- ・ 施設周辺道路の、カーブや張り出している枝等の除去を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づき、対人距離の確保、手指の消毒設備の設置、マスクの着用、施設の換気、施設の消毒、その他感染予防に努めた。

(2)指定管理業務実施上の課題

- ・ 施設の老朽化(水道ポンプ老朽化・水道管の破損により仮設での営業・トイレセンサー及び水漏れ等)
- ・ 施設周辺の森林整備や林内の遊歩道整備を行い、健康増進のためのルートの整備をする必要がある。
- ・ 栗は肥料を必要とするため、短期的には化学肥料、長期的には有機肥料を散布する必要がある。そのため、肥料の予算化が必要となる。
- ・ 栗の木の高齢化に伴い収量が減少している。そのため、栗の木の更新を順次行う必要がある。また、枯れ枝及び枝の誘導のため剪定作業を実施する必要があるが、斜面及び大径木のため高所作業車や特殊技術が必要となる。危険手当を含む予算化を必要とする。
- ・ 栗の木の高齢化に伴い収量が減少している。そのため、栗の木の更新を順次行う必要がある。

(3)次年度以降の取り組み

- ・ 育成会活動や課外活動の場としてキャンプ場施設の活用を働きかける。
- ・ 別所温泉観光協会や地元自治会と連携を図り、別所温泉森林公園のPRと利用者増加を目指す。
- ・ 栗の木の更新、施設内の支障木等の伐採、剪定等を行い、環境整備に努める。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

- ・ 森林総合センターのトイレを和式から洋式にしてほしい。公衆トイレの手洗い器の修繕、交換希望。
- ・ 森林総合センターの給水設備、シャワー室内給湯水栓の改善。
- ・ バンガローの炊事施設(ガスコンロ)を改善してもらいたい。
- ・ キャンプ場の老朽化遊具の補修、撤去。

②市からの改善指示に対する対応(※ 市から改善指示等があった場合のみ)

--